

2018年7月24日:タウン別集会		2018年7月火曜集会祈りカード(持つこと、味わうこと、生活)	
集中神学院戦略会議63: 予測		(資料提供: 世界福音化常任委員会インターネット総局 ①http://data.rutc.com ②http://www.jcking.net)	
伝道弟子: レムナントのために先に持つこと→ モデル		70人: レムナントに味わうようにすること→ 祈り=救い=集中=神様礼拝(敬拝)	
ミッションホーム/いやし: とともに=生活(マタイ28:20)			
* 序論 ▲伝道弟子とみなさんが、ちょっと予測しなければならぬことがある。 1)使徒1:6-7、イスラエルの国が回復するとき→ あなたがたは知らなく てよいのです。 2)使徒1:8、あなたがたは、ただ使徒1:8の力を受けなさい。 3)使徒1:14、この(使徒1:8)力を受けて集まった人々だ。 ▲そのために、伝道弟子のみなさんが時刻表をよく見なさい。 1.使徒1:6-7「教会、宗教団体の失敗」 ▲ほとんど世界教会、その次に、多くの宗教団体は失敗するだろう。予 測をして、みなさんが伝道準備をしなければならぬ。なぜなのか。 1)私中心→ 福音が必要ないと言う。 2)サタン→ この贈り物をくれた組織がサタンだ。 3)肉的なもの、目に見えること、体験できることで、今、すっかり世界が 覆われている。 2.使徒1:8→ このとき、みなさん弟子を呼んで約束された。 1)みことば(父なる神様)、3つの祝福(キリスト→3つの呪いX)、聖霊(目に 見えなく聖霊で働き) 2)背景=天国(神の国) 3)権威=暗やみに勝てる権威を与えられた。 ▲これならば充分だ。すべて私の考えを捨てれば良い。神様がこうい う人を探されるのだ。 3.使徒1:14、この人たちに必ず話してあげなさい。 1)福音の中にいれよ→ すべての過去はキリストのために、キリストに よって、土台になる。(使徒1:1) 2)今日は→ 神の国が成される答えがくる。(使徒1:1:3) 3)未来よ→ 証人として立つようになる。(使徒1:1:3.8の証人) ▲2番の答えを常に味わっていなければならぬ。 * 結論-時刻表がくる。 1)使徒2:1、五旬節の日=初代教会のはじまりだ。 2)使徒3:1、自分の午後三時の祈りの時間に 3)使徒8:4-8、サマリヤに門が開かれる。 4)使徒11:19、ステパノの迫害によって起きたこと、アンテオケ教会だ。 5)使徒13:1、地球ができて最初の宣教師派遣だ 6)使徒16:6-10、マケドニアへ 7)使徒19:21、ローマも見なければならぬ。 ▲少し今は伝道弟子が水準を高めて、水準を少し高めなければならぬ い。福音も、ちょっと水準を高めなければならぬ。それゆえ、みなさ んは、今は無条件にしようとせずに、本物の神様の導きを受けなけ ればならぬ。神様が本当に希望されることを尋ねて、祈って・・・本 当に神様の計画が何かを質問して、そのとき、私たちの教会に最も 重要なのが何か。それも質問して・・・そのように、ちょっと水準あるよ うにしなければならぬ。みなさんが少し水準あるように、福音を正 しく味わうならば、神様の時刻表の中に入るようになる。そうすれば 良い。		* 序論=モデルが必要 ▲私たちがレムナントのために先に持つことはなにか。モデルが必要 だ。どんなモデルだと思ふのか。 1.福音のかおり(味)→ 私の考え、私の自慢X ▲ある面では、私の考え、私の自慢は必要ないのだ。 1)レムナント7人 ▲どんな状況の中でも、主が私とともにおられた。詐欺師が奪っていく ことができないように、神様は霊で、本当にみことばで、天の背景で あなたとともにおられる。絶対にだまされてはならない。 2)ダニエル ▲ダニエルは今まで自分がしたことの中で、主がいっしょにおられ、 よく導いてくださったということを知っている。こういう正しい福音の味 が、レムナントに伝えられなければならない。 3)使徒1:14 ▲堂々と使徒1:14に、行って死になさい、生かしなさい、そういう話では ない。ひたすら祈りに専念するのだ。その前で、すべての暗やみが 崩れて、未来が開かれるという事実を、レムナントに知らせなければ ならない。 2.福音の色 1)マタイ13:1-18、良い地、パン種、からし種、隠れた宝の畑 2)マタイ16:13-20、エシメヤ、エリヤ、バプテスマのヨハネ、預言者では ない。福音の内容と色 3)マタイ17:1-9、モーセ、エリヤではない。 4)使徒11:1-8、福音の色がすべてを左右する。 5)使徒11:19-30、アンテオケ教会が持っていた福音の色 6)テサロニケ1:3、信仰の働き、愛の労苦、望みの忍耐=福音の色 7)テサロニケ1:5、力、聖霊、強い確信によって・・・ 3.福音のかたち(生活)→ 感謝 1)福音の中にいれれば傷は=土台 2)福音の中にいれれば試みは=祝福 3)福音の中にいれれば葛藤は=更新 4)福音の中にいれれば危機は=機会だ。 * 結論-モデルが必要でないようになるべきだ ▲そして、こういう結論が出てこなければならぬ。今はモデルは必要 ないようになるべきだ。私たちのレムナントが行く時は、モデルが必 要でないようになるべきだ。 1)どこでも生き残らなければならぬためだ。 2)いつでも生き残るためだ。 3)何でも勝てるためだ。 ▲モデルは必要ない。主なる神様がみなさんとレムナントとともにおら れる。それも完ぺきに、さっき話した通り、ともにおられる。どれくらい 感謝しているのか。神様の栄光を現わす証人になることを主イエス の御名で祝福する。	
* 序論 ▲レムナントに味わうようにすることがある。一つだけ認めれば良い。 神様が正確にみなさんとともにおられるから、みなさんが持っている 問題は、みなさんがすべき心配ではない。レムナントに、正しく福音 を話してあげなければならない。 ▲それでは、レムナントが、今、できないことはなにか。祈りを間 違っている。創世記12:7、神様が人間をご自分のかたちとして創造さ れた。ところが、サタンが最初にしたことはなにか。礼拝できる霊的 システムを崩してしまったのだ。サタンの最も大きい部分は、敬拝、 礼拝を取っていつてしまう。(創世記3章、6章、11章)違った礼拝をさせ る。(使徒13章、16章、19章=偶像)サタンの奴隷にさせてしまう。(6つ の状態) ▲しかし、神様の他には絶対に礼拝の対象はない。 ▲祈り=救い=集中=神様に礼拝(敬拝) 神様は私たちの人類に、救いとともに、救いと同じ礼拝を回復させら れた。それゆえ、私たちが神様に進むことができないが、キリスト が道になって、そのキリストによって、神様に進むようになるのだ。 祈りは誰でもできるが、救われた人が神様に祈るのだ。祈りは、す なわち集中だ。神様に礼拝すること、これが集中だ。敬拝だ。これを 回復しなさい。		* 序論 ▲みなさんがレムナントに必ず話すべき最初のことは、福音が何かと いうことを正しい色を持つようにさせなければならない。そして、祈り 以前に、私たちが何を奪われたかを知らなければならない。世の中 のこの以前に、礼拝を奪われたので、祈りは当然、奪われるのだ。無 理に作るプログラムの祈りでは、彼らに勝てない。生活、どのように ともにいるのか。 ▲イエス様の最後の約束でもある。マタイ28:20、世の終わりまで、いつ もあなたがたとともにいます。今、私たちがする運動は、流れを変える 運動だ。その流れをひっくり返すには簡単だ。レムナントだ。 ▲レムナントに、ちょっとフォーラムして、目を開いてあげなさい。 1)はじまり(IIコリント4:4-5、ヨハネ16:11-14、黙示12:1-9)-サタンの働き (創世記3:4-5、創世記6:4-5、創世記11:1-8) 2)サタンの征服=偶像文化 3)サタンの方法=私(あなた)中心、霊につかれる、悪霊文化(作品) 4)霊的問題=代替宗教(瞑想、気功、超能力) ▲勝てる方法→ 三位一体の神様、背景、権威を 1.優先順位を変えなさい 1)使徒1:1-先に見ること。 2)使徒1:3-先に見つけること。 3)使徒1:8-先に味わうこと。 ▲常に、これからすべきだ。そうすれば、その後にはすばらしいことが 行われる。 2.神様の時刻表 1)24時-いまはレムナントは、世の中の流れを変える道を神様がくださ るが、それが24時だ。 2)25時-そうすれば、神様が働かれる。25時 3)永遠-この偶像から出る滅びだが、これは違う。永遠だ。 3.神様の方法 ▲そして、今からとても小さいことで常に見つけなさい。そうすれば、一 生のことが出てくる。 1)ただ=常に見つけるのだ。 ▲ただをどのように見つけるのか。今日も見つけることができる。私だ けでも、はやく行かなければ、それもただだ。はやく行こうとせずに、 私だけでも、およそ30分祈って行こう。それがただだ。 2)唯一性=それだけしたが、唯一性の答えがくる。 3)再創造=そうすれば、神様はみなさんが競争をしなくて勝つ再創造の 答えをくださる。 ▲この62の中に入っているが、レムナントともう一度フォーラムすべき レムナントのことだ。必ずそのように話さなければならない。 * 結論-いやしサミット ▲私たちのレムナントは、残っている使命一つあるためだ。全世界は 勝利するように見えるが、滅んでいるからいやすのだ。あなたたちは 世の中をいやすためのサミットだ。これが今年の主題でもあり、永 遠な主題だ。世界福音化をすべき神様の契約の中にいる瞬間、みこ とば握る瞬間、このことが三位一体、背景、権威起きる。	